

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

(更新審査)

《第二期》

(概要版)

小国町森林組合

平成23年 7月

一般社団法人 全国林業改良普及協会

目 次

I. 小国町森林組合の概要

II. 審査経過・写真

III. 審査における判定事由書

I. 小国町森林組合の概要

1. 申請者名称 小国町森林組合 代表理事組合長 高野悠爾
(所在地) 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原 1802-1
2. 認定事業体 小国町森林組合
本 所 : 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原 1802-1
若宮共販所 : 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原 3012 番
3. 事業内容 森林整備、林産、木材販売 (共販) 等

(認定対象業種) 素材生産・木材販売

4. 沿革・概要

小国町森林組合は、昭和 26 年 12 月に設立され、林家からの委託による伐採搬出作業から立木の販売斡旋までを主に事業として実施してきた。

その後、昭和 33 年から、共販事業に取り組み、共販所を増設するなどして、増えつづけてきた素材の販売に対応してきた。その後、平成 3 年の台風災害による風倒木の処理での多量の素材販売を行う必要から、共販所の合理化を目的として、平成 4 年に若宮共販所が開設された。この年、平成 4 年には、過去最高の 52,000 m³ の販売数量を記録している。

現在は若宮共販所だけで素材販売を賄っており、近年は年間 35,000m³ 以上の販売数量を維持している。

SGEC 森林認証の取り組みは、森林認証を取得している同組合管理森林から生産される認証材のトレーサビリティを確立し、当地域の銘柄材「小国杉」のブランド化を進めようとの取組である。

【小国町森林組合の概要】

- ・組 合 設 立 : 昭和 26(1951)年 12 月
- ・所 在 地 : 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原 1802-1
- ・組 合 員 数 : 703 名 (正組合員 : 686 名 準組合員 : 17 名)
- ・出 資 金 額 : 37,633 千円
- ・役 員 数 : 9 名 (非常任理事 : 7 名 監事 : 2 名)
- ・従 業 員 数 : 25 名 (事務職員 11 名 現業職員 14 名)
- ・主 な 事 業 : 販売事業 購買事業 利用事業 金融事業 地籍調査
- ・事業総収入 : 282,313 千円 (平成 22 年度)

- ・素材取扱高：414,837千円 素材取扱量：37,838m³（平成22年度）
- ・保有機械：グラブプル-2台、バックホウ-1台、ロギングトラクタ-1台、
フォークリフト-6台、ローダ-1台、7トントラック-1台
- ・保有資産：若宮共販所(第1土場・第2土場)
敷地面積：34,655 m² 丸太敷地面積：27,637 m²
- ・作業班：直営班：5名
請負班：「小国林業一人親方組合(労災組合)」組合員数：54名

【木材・木製品の年間取扱実績】

○期間 平成18年6月1日～平成23年5月31日(18年度～22年度)

【共販所素材取扱実績】

(取りまとめ期間：6月～5月 単位m³)

品目・年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
素材取扱量	32,276m ³	36,045m ³	36,672m ³	35,179m ³	37,838m ³
内、SGEC認証材	963m ³	1,909m ³	1,525m ³	4,257m ³	7,709m ³

○主な取引先（認証材の出荷先）

平成22年度	小国ウッディ協同組合	2,210m ³	(NFEA-W023 統合事業体)
	株式会社 佐藤林業	336m ³	(NFEA-W023 統合事業体)
	伊万里木材	5,163m ³	
	合計	7,709m ³	

5. 分別・表示管理の方針

小国町森林組合の分別・表示システムは、素材生産から運搬、木材共販所での受入から選別、販売までである。

SGEC 分別・表示事業体認定取得に当たり、「認証林産物の分別・表示管理方針」を定め、「森林認証された森林から生産された林産物（以下：認証材）が、その他の森林の非認証林産物と、素材生産・搬出、保管、出荷の各過程及び、組合の所有する共販所での受入、選木、はい積、共販、出荷までの行程で、混在しないように分別・表示管理を徹底する」こととし、「認証林産物の分別・表示管理体制」、「認証林産物の分別・表示管理の計画」、「内部研修、内部検査の体制」を整えて管理体制を確立している。

基本的な作業工程の分別・表示管理の概略は以下の通りである。

- (1) 素材生産：SGEC 認証森林であることを確認し、認証素材の搬出にあたっては、木口へのマーク・刻印・スプレー等で区分し、認証林産物であることが確認できるようにする。
- (2) 木材市場：木材共販システムを利用して、所有者・生産林分及び認証林産

物であることを表示して販売する。

なお、記録簿である「SGEC 認証材入荷・製品在庫管理表」及び、素材生産現場の指導マニュアルである「「認証森林」伐採・搬出作業マニュアル」を定め、各段階で認証林産物を量的に把握し、分別・表示管理の徹底できる管理体制を確立していることを確認した。

【主な確認資料】

- 小国町森林組合 22 年度事業報告書
- 22 年度組合員別売上集計表
- 認証林産物の分別・表示管理方針書
- 認証林産物の分別・表示管理の計画
- 共販所における認証林産物の分別フロー
- 認証林産物の分別・表示管理の体制
- 内部研修、内部検査の体制（内部検査実施要領・チェックリスト）
- 「認証森林」伐採・搬出作業マニュアル
- 若宮共販所施設配置図
- 共販会議議事録
- 共販木材入荷状況管理表（市日毎）
- 出荷者・買上者明細書
- 認証林産物出荷証明書
- 帳票類（入荷日計表・はいずみ票・送り状・共販売上計算書・請求書）

II. 審査経過 ー小国町森林組合の審査経過

更新期の認定審査は、一般社団法人全国林業改良普及協会認証審査センターの児島裕、原山洋士、小邦徹の3名が下記のとおり行った。

【審査申込】

平成23年6月9日／審査申込

(説明内容)

1. SGEC 分別・表示システム及び、全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

【認定審査】

平成23年7月6日／書類確認及び現地確認

(場 所)

小国町森林組合事務所、若宮木材共販所

(審査委員)

元東京農業大学教授・農学博士 河原 輝彦

(審査員)

全国林業改良普及協会認証審査センター

審査員	児島 裕
専門審査員	原山洋士
専門審査員	小邦 徹

(出席者)

小国町森林組合	代表理事組合長	高野悠爾
同	参 事	穴井喜一郎
同	事業課長	築瀬和彦
同	事業課販売係長	石田伸一郎

(内 容)

1. 事務所において事業の概要、現行の素材生産・搬出と、共販所における受入・選別・入札・販売における木材の流れ、及び管理の仕組み等について、更に分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の生産・加工、出荷管理計画、分別・表示管理の体制等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
2. 森林組合の素材共販所、土場等において、認証材置き場、選別工程、桧の分別状況を確認した。
3. SGEC 分別・表示システム及び、管理方針、分別・表示管理計画・体制等の遵守意志を各担当者に確認した。

【審査判定】

平成 23 年 7 月 20 日／審査委員会

(委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
木構造振興株式会社代表取締役・農学博士	西村 勝美
(社)日本育種協会理事	真柴 孝司

(事務局)

(社)全国林業改良普及協会 専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一

(内 容)

1. 事務局より現地確認の結果及び SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」に基づいた審査内容を各委員に説明した。
2. 現地確認及び提出資料等の内容について、各委員からの質疑応答、改善点などの指摘を受け、取りまとめ結果の最終判定を行った。

Ⅲ. 小国町森林組合の更新審査における判定事由書（概要）

【審査判定】

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき作成した、全林協「SGEC 事業体認定基準・指標」の 12 項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて「審査判定」を行い、審査委員に諮ったところ、実行体制及び入荷・出荷管理の仕組み、提出資料等から、小国町森林組合は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、トレーサビリティを徹底するため、引き続いて下記「向上目標」に努めることが求められる。

【向上目標】

1. 関係職員に対する教育・研修を引き続いて実施し、分別・表示管理方針書の趣旨を徹底すること。（基準 2－4）
3. 認証林産物出荷証明書による生産者・生産地の履歴表示に引き続き努めること。（基準 4－3）